

第17回 ハートシェア 終了しました。

「誰にも言えなかった がん治療費の苦悩」

H23年5月17日開催

今回はどんな会？

がん患者やその家族の多くが、【経済的な痛み】【こころの痛み】【からだの痛み】3つの“苦痛”に、悩んでいることが、日本医療政策機構が行った「癌患者意識調査」結果として報告されました。7割以上が癌治療費の負担が大きいとし、6割が精神的・肉体的苦痛に苦しんでいました。

がん相談支援センターにも、長期に渡る高額ながん治療費の負担感、生活費の心配、家族への気兼ねや罪悪感など、さまざまなお話を聞きすることは少なくありません。ご家族にも言えず一人で苦悩している方も多くみられます。

このような背景から、今回は「がんの治療費の苦悩」について取り上げました。会では参加者それぞれが抱えている『苦悩』について語り合い、その『苦悩』を分かち合うことができたようです。

ミニ講演「がん治療費の手続きのあれこれ」担当：がん相談支援センター相談員 小玉かおり

参加者5名（男性3名、女性2名）

当日スタッフ

がん相談支援センター相談員 小玉 かおり

臨床心理士 大盛 久史

実際に語り合った内容です！

がん治療費に関する苦悩、治療費のことで困っていること、悩んでいること

- 3割負担だと高い
- 高額療養費の上限でも高い(例8万100円)。それ以外にも本当にかからないのか心配
- 毎月かかるのでどんどんきつくなる
- 治療によって(抗がん剤の種類など)は一度の負担が高い
- 保険や補償の制度が複雑でわかりにくい
- 手術して成功したと聞いたが、予防的な治療を続ける(術後の抗がん剤、放射線など)と言われた。頭の中になかったことなので準備ができていなかった。
- 限度額以上は戻ってくるが、外来では一回一回請求されるのできつい。
- 仕事を退職しているのに治療費がかかる。収入がないのに出て行くばかり。年金もまだもらえていないのに…。
- がん保険；入院治療はお金が出るが通院治療は対応していない

- がん保険は年齢によって高くなる。途中までかけていたが、高額になったのでやめたら病気になってしまった。
- がんになると民間療法の話を聞くようになる。高額だし、効果があるのかはわからないが、つい手を出したくなってしまう。
- 治療費以外にもお金はかかるし、不安なことはいっぱい

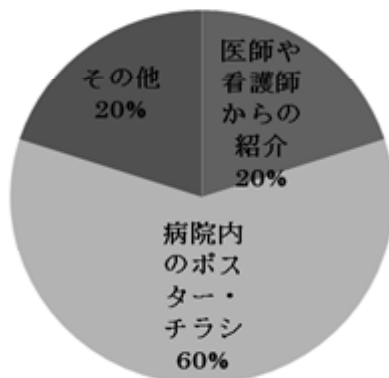
自分なりの対処法・工夫など

- 保険に入っておくのは大事
- 病気になってしまったが、日頃から健診を受けておくことが大事ではないか
- 苦悩をあまり抱え込まないようにする(散歩、パークゴルフ、普段の生活を心がける)
- なるべく考え込まないようにする
- わからないことは何でも相談する 総合相談センター、市役所など

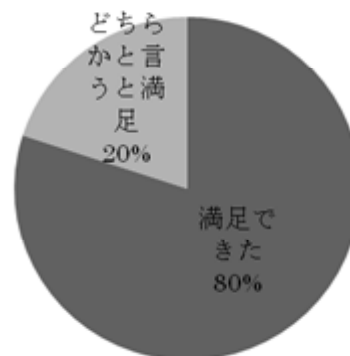


がん相談支援センター相談員
小玉さんよりがん治療費の手続き
きについて解説がありました。

ハートシェアの認知



満足度



【当日の様子】

参加者は 5 名でした。がん治療費に今まさに苦悩中の方はもちろん、これから治療が始まるので治療費に関して不安な方、現在はそれなりに乗り越えつつある方などさまざまな状況の方が参加されました。それぞれの置かれている状況から治療費に関するつらさ、不安について語り合い、お互いのつらさを共有することができました。

「がん治療費については具体的にこうすればよいという対処法はなかなか見つからない。それでも自分ひとりが悩んでいるわけではないとわかってよかった」とある参加者は話されていました。自分ひとりで不安や悩みを悶々と抱えて生活することは本当につらい苦悩の日々です。そういった苦悩が少しだけ軽くできた会だったのではないかと参加者の雰囲気を見て感じました。

最後にがん相談支援センター相談員小玉より、「がん治療費の手続きのあれこれ」について話がありました。語り合いの話題にもあがっていた高額療養費の制度などについて簡単かつ整理されたお話でした。参加者からは「今まで難しくてわからないことが多くて不安だった。でも今日の話はわかりやすかったから、少し安心できました。わからないことがあったら相談にいきます。」という声があがっていました。



次回第 18 回ハートシェアは 6 月 15 日です。

テーマは「家族を亡くした人の集い」です。